

一般医療機器：機械器具 17 血液検査用器具
一般的名称：手動式血球計数装置 JMDNコード35103000

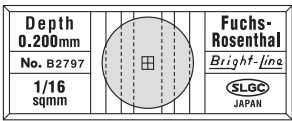
フックスローゼンタール血球計算盤ブライトライン

【禁忌・禁止】

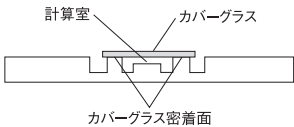
ご使用に際しては次のことにご注意ください。

- 1. ガラス製品のため、強い力を加えたり、硬いものをぶつけたり、落としたりすると破損する恐れがあります。
- 2. 熱湯消毒等の急熱・急冷を行うと破損する恐れがあります。
- 3. ガラス表面を硬い紙やホコリの付いた布等で強くこすったり、研磨剤の付いた布等でふいたりするとキズが付き目盛ラインが見えにくくなる恐れがあります。
- 4. ブライトライン計算盤への酸やアルカリによる消毒・洗浄は、目盛ラインが薄くなったり消えたりする恐れがあるので行わないこと。

【形状・構造及び原理等】



構 図



本装置は、一辺の長さが4.0mmの正方形に細かい線の入った血球計算盤と上にのせるカバーガラス、付属品の止め金具から構成されています。フックスローゼンタール血球計算盤ブライトラインは計算室1面の血球計算盤です。計算室の目盛面に金属薄膜（クローム）を真空蒸着処理し、顕微鏡下では半透明・暗視野の中に目盛ラインが白く浮き出て血球等の算定が容易になります。

ガラス盤中央の計算室底面に縦横とも一辺の長さが4.0mmでこれを各4等分し、全体が1mm×1mmの16個の大ブロックに区分する目盛が刻まれています。各大ブロックはさらに縦横とも4等分され、それぞれ16個のマス（小正方形）に分かれています。

カバーガラスをこの上にのせると、その下面と目盛面の間に一定の空間ができます。この空間を計算室といいます。

カバーガラスの端が計算室と接する隙間に、希釈したサンプル液を数滴おとし、計算室内にある血球数等を顕微鏡を通して計測するものです。

【使用目的、効果・効能】

手動式の血球計算板として機能する装置。

本装置は一定の深さのくぼみのあるガラスブロックと線で四角く区切られた平面から構成される。区切られた四角とカバーガラスの間の既知の容量中の血球を顕微鏡を通して計数する。

【品目仕様等】

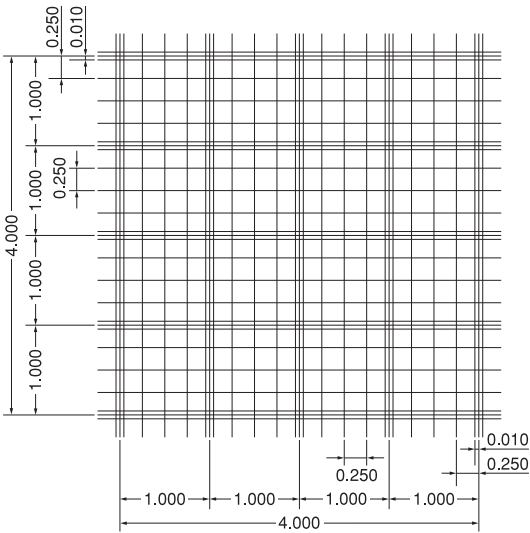
(1)計算盤

計算室：1面	目盛面の深度	目盛標線
容積：3.2μL	0.200mm	4×4mm

(2)規格等

日本血液検査器械検定協会 (JHS) 基準

フックスローゼンタール目盛標線図



Depth 1/5mm · 1/16mm²

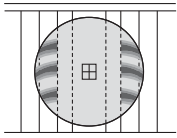
【操作方法又は使用方法】

使用前(準備)

- (1)計算盤の計算室とその両側のカバーガラス密着面を、エタノール等の消毒用アルコールを適量含ませた、ホコリの出にくい清浄なガーゼ等できれいにふきます。ガラス面を一方方向に2～3回ふき取るとホコリをたえずに汚れをきれいに取り除けます。

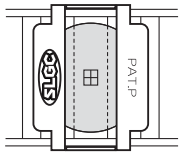
操作方法

- (1)同様に処理したカバーガラスを計算盤の上にのせると、虹色のシマ模様（ニュートンリング）が出ます。形状は多様ですが、蛍光灯下で左図のように見えます。



●この状態にならない時は、手指やホコリ等の付着が考えられます、再度きれいにふき直してください。

- (2)この上から止め金具をのせ、四隅を指で下に押し込んでください。取り外す時は、計算盤手前を軽く持ち上げ、反対の手で金具の手前を



上に引き上げてください。

- 止め金具を使用しない場合は、カバーガラスの上から両手指ですり込むように2～3回押し込むとガラス盤に密着します。

(3)次にカバーガラスの端が計算室と接する隙間

に、希釈したサンプル液をピペット等で数滴おとします。

毛細管現象により計算室全体に均一に広がります。

(4)数分間静置して細胞等の沈下を待ち、顕微鏡下でカウントします。

使用方法に関連する使用上の注意

- ・希釈したサンプル液を計算室に落とす時液を入れ過ぎない様注意。
- ・粘度の高い原液をそのまま算定する時は、計算室上に数滴たらし、その上からカバーガラスをセットします。

使用後の処置

- (1)計算盤から止め金具とカバーガラスを外し流水できれいに洗う。
- (2)エタノールとエーテルの混合液（1：1）に10分程度浸す。
- (3)液から取り出し、エタノール等を含ませた柔らかいガーゼなどできれいにふく。

【使用上の注意】

1. 計算盤上にカバーガラスをのせたとき、ニュートンリングが出ることを確認してください。もし出ない時は手脂やホコリ等の付着が考えられます。再度きれいにふき直してください。汚れが付着した状態で算定を行うと、計算室の深さがくるい、また算定中の液もれの原因ともなり、正確な算定ができなくなります。
2. 1マス（計算室の最小単位）あたり細胞数に大きなバラツキが見られる時は、サンプル液内の細胞分布が不均一と思われます。また、計算室内に気泡が入ると正確な算定ができなくなります。この様な時は、あわ立たないように注意しながらサンプル液をよく混和し、再度はじめてからやり直してください。
3. 使用後サンプル液を注入したまま計算盤を放置すると、液が乾燥して取れにくくなり、チャンバー容積の誤差や目盛ラインが見えにくくなる原因となります。
使用後は洗浄の手順に従い計算盤とカバーガラスを洗浄してください。

【包 装】

計算盤1枚・カバーガラス（角・丸）1組／箱

止め金具1個／別包

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者の氏名又は名称：サンリード硝子有限会社

住 所：埼玉県越谷市平方南町2-2

電話番号：048-978-3808

緊急連絡先：サンリード硝子有限会社

製造業者の氏名又は名称：サンリード硝子有限会社

販売業者(代理店)